



**要申込
参加費
無料**

教えて☺ 医療ソーシャルワーカー（MSW）さん

お伝えします。病院のあれやこれ

初診料って何？えっ、お金かかるの？

セカンドオピニオンを受けたいけど、
医師に言えない💧

家族の入院が長期になる見込み。
医療費や生活費、どうしよう…

在宅での看病は無理。
転院先見つかるかな？

病院のことで、ずっと気になってることがある…
誰か教えてくれないかなあ



講師：近藤 裕美子 MSW
(JHCO可児とうのう病院)

医療ソーシャルワーカーは、医療機関における福祉の専門職です。主に病院で、患者やその家族が抱えるさまざまな課題についての相談援助を行っています。困ったことがあれば、お気軽にご相談ください！



2024年

火

11/19

14:00~15:00

ヨシヅヤ可児店1階

無印良品 店舗内

ミーティングルーム Room1

定員:10名

※申込多数の場合は抽選

※可児市・御嵩町在住者優先

お申込み

申込はQRコードから



<https://logoform.jp/f/zmG3y>

申込締切:11/11(月)

お申込みは
コチラ



主催

可児市・御嵩町
在宅医療・介護連携推進プロジェクトチーム

“かけ” つけます “そば” にいます

かけそばネット



問合せ先

可児市 高齢福祉課 地域包括ケア推進係
電話：0574-62-1111

Email koreifukusi@city.kani.lg.jp



「QRコード」は(株)デンソーウェブの登録商標です。

☑ かけそばネットとは??

医療と介護の連携が進むとどうなるの?

患者・利用者の日々の状況が医療職(医師、看護師など)と介護職(ケアマネジャー、ヘルパーなど)で共有されるので、どの専門職に相談しても医療と介護を含めた話ができます。状況に変化があった時は、迅速に医療職・介護職の双方に状況が伝わり、適切な医療・介護サービスを受けることにつながるから、在宅で最期まで暮らし続けることが可能になります。

例えば

医師とケアマネジャーに相談したところ...

医師
運動は少し控えましょう。

ケアマネジャー
もっと運動できるようにしましょう。

? どうしたらよいのかと迷うことも...

連携ができていると...

ケアマネジャー この人に運動をさせたいのですが。

医師 この人は〇〇ですので激しい運動は控えたほうがよいです。

ケアマネジャー では軽めの運動をするように伝えます。

医療と介護の
まとまった指導が伝わる。

連携を目指して活動している

在宅医療・介護連携推進プロジェクトチーム

かけそばネット



「いつでも「かけ」つけます「そば」にいます」を合言葉に、地域の皆さんに寄り添う専門職が集まるかけそばネット。平成29年8月に可見市と御藻町の合同で始まりました。

さまざまな専門職が集まって事例検討や研修を行っています。在宅医療や介護について知識を深めるだけでなく、医療(医師、歯科医師、薬剤師、看護師など)と介護(ケアマネジャー、ヘルパー、地域包括支援センターなど)の専門職が顔の見える関係づくりをしています。

かけそばネットのロゴマーク「人」という漢字を使い、臂が顔を合わせて円を畫くことで、ケアシステム全体の和(輪)をイメージしています。

こんな活動をしています



住民向け講演会

専門職が、入院から在宅生活への医療介護の連携を紹介



専門職の研修会

人生の最終段階における医療・ケアのあり方について勉強



あんどうクリニック
院長 安藤 文夫さん

専門職のみなさんへ かけそばネットに参加しませんか!

これからの在宅医療・介護には我々専門職が連携してそれぞれのケースに対応していくことが大切になってきます。

医療、介護の現場で活躍する専門職のみなさん、患者さんや利用者さんの望む生活を、私たちと一緒に実現しませんか?毎月第2水曜日の夜に活動しています。みなさまのご参加、お待ちしております。(次回は7/10(水)に医療・介護ワンコイン交流会を開催します)

問合せ かけそばネット事務局(高齢福祉課 地域包括ケア推進係内)



【広報かに 令和元年7月号】

在宅医療・介護の連携に意欲的に取り組む有志の「在宅医療・介護連携推進プロジェクトチーム」を募集し、平成29年8月にプロジェクトチームを立ち上げ、毎月定例的に会議を進めています。

現在は『様々な職種の方に「在宅医療介護連携」についての周知を図り、顔の見える関係ができることで、住民の在宅医療介護が円滑に進み、住み慣れた地域で安心した生活ができるようになる。』を目標に「多職種間の交流会」、「相互理解目的の研修会」等に取り組んでいます。

